

行動

- ・活動時間は通常、日の出から日没までの明るい時間だけ、夜間は行動しない。
- ・サルの群れは、メスとその子を中心に構成され、10数頭～100頭。オスは成熟すると群れから離れ、別の群れに入ったり、離れザルとして生活する。
- ・高い学習能力を持ち、集落内の食べられるものを少しずつ覚えてゆく。
- ・木登りとジャンプが得意。



繁殖

- ・交尾期は年1回で秋、出産期は春。
- ・栄養状態が良いと毎年出産（通常は2～3年に1頭）。
- ・条件のよい環境での寿命は約28歳。

特性

- ・視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚は人間とほぼ同じ。
- ・新しいものや状況、場所を警戒するが、いったん慣れると大胆不敵。
- ・群れで行動し、行動範囲は定まっているので、特定の場所で発生する被害は加害群を特定することができる。ただし離れザルが引き起こす被害はこの限りではない。



1 サルを知る

ニホンザルは、学習能力が極めて高い動物です。どんなときに何をすれば農作物を守れるのかを知るために、まず知恵比べの相手であるサルのことを知っておくことが大切です。人間の知恵に、サルは到底及びません。対策が的確ならサルの被害は必ず防げます。

生態

食性

- ・雑食性で、植物の果実、種子、葉、芽のほか、昆虫なども食べる。栄養価や消化率が高く効率的に食べられる食物……カキ、カボチャ、スイカ、トウモロコシ、クリ、モモなど甘くて栄養価の高いものを好む。餌となる食物は、遺伝的に決まっているわけではなく、生後に学習する。学習によって多くの農作物（イネ、マメ類、イモ類、ネギ、キュウリ、ナス、ダイコン、トマト、イチゴなど）の味を覚えていくため被害対象作物は広がっていく。

